

水島港港湾計画資料

— 一部変更 —

平成24年7月

水島港港湾管理者
岡山県

目 次

| | |
|-------------------------------|----|
| I. 変更理由 | 1 |
| II. 港湾計画で定める機能別の計画に関する資料 | 2 |
| II-1. 専用埠頭計画 | 2 |
| II-2. 水域施設計画 | 4 |
| II-3. 効率的な運営を特に促進する区域（港湾運営会社） | 13 |
| III. その他の資料 | 14 |
| III-1. 環境の保全に関する資料 | 14 |
| III-2. 新旧対照図 | 16 |
| III-3. 地方港湾審議会名簿 | 17 |

I. 変更理由

- 1 大型船舶を活用した効率的なバルク貨物輸送の実現を図るため、水島地区において、専用埠頭計画及び水域施設計画を変更する。
- 2 民間の能力を活用し、港湾の一体的かつ効率的な運営の促進を図るため、玉島地区において、効率的な運営を特に促進する区域を計画する。

Ⅱ. 港湾計画で定める機能別の計画に関する資料

Ⅱ-1. 専用埠頭計画

(1) 専用埠頭計画の必要性

大型船舶を活用した効率的なバルク貨物輸送の実現を図るため、水島地区に立地している穀物関連企業が所有する専用埠頭（ドルフィン）を計画に位置づける。

(2) 専用埠頭計画の規模及び配置

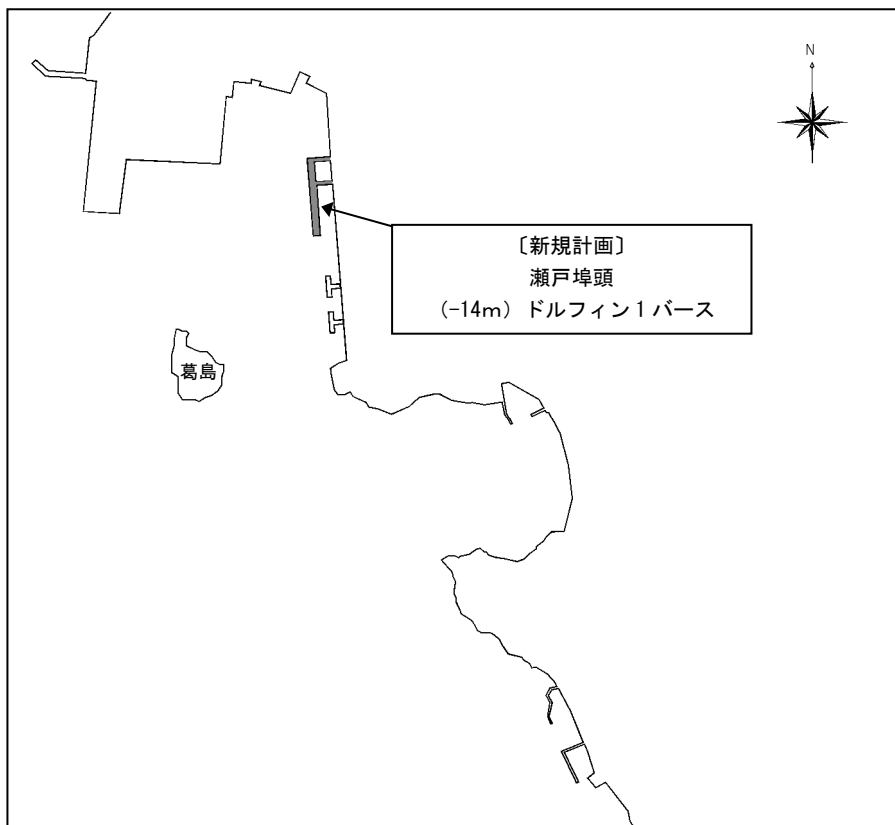
今回変更する専用埠頭計画の規模及び配置は、表Ⅱ-1-1及び図Ⅱ-1-1に示すとおりである。

表Ⅱ-1-1 専用埠頭計画の規模及び配置

| 地区名 | 施設名 | 水深 (m) | バース数 | 対象船舶 | 配置及び法線の 考え方 |
|------|------------------------------|-----------|------|---|---|
| 水島地区 | パシフィック グレンセンター ドルフィン棧橋 | -14 | 1 | 70,000D/W の 穀物運搬船に 対応 | パシフィックグ レンセンター(株) の利用計画に基づき 設定 |
| | 瀬戸埠頭棧橋 | -14 | 1 | 76,000D/W の 原塩運搬船及 び 70,000D/W の穀物運搬船 に対応 | 瀬戸埠頭(株)の利用 計画に基づき設定 |



図Ⅱ-1-1 (1) 専用埠頭計画位置図



図Ⅱ-1-1 (2) 専用埠頭計画位置図

Ⅱ－２．水域施設計画

(1) 航路計画

1) 航路計画の必要性

専用埠頭計画に対応し、必要な航路を確保するため、航路を計画する。

2) 航路計画の規模及び配置

今回計画する航路の規模及び配置は、表Ⅱ-2-1 に示すとおりである。

表Ⅱ-2-1 航路の規模及び配置

| 地区名 | 計画種類 | 水深 (m) | 幅員 (m) | 水深及び 幅員設定の 考え方 | 配置及び法線 の考え方 |
|----------|-----------------|-----------|-----------|---|--|
| 水島 地区 | 航路 (既設の変更計画) | -14 | 250 | 76,000D/W の 原塩運搬船及 び 70,000D/W の穀物運搬船 に対応 | 船舶の入出港にお ける安全性、周辺水 域の利用状況等を 考慮して配置する。 |

注) 水深については穀物運搬船、幅員については原塩運搬船を基に設定

(2) 泊地計画

1) 泊地計画の必要性

専用埠頭計画に必要な水域を確保するため、泊地を計画する。

2) 泊地計画の規模及び配置

今回計画する泊地の規模及び配置は、表Ⅱ-2-2 に示すとおりである。

表Ⅱ-2-2 泊地計画の規模及び配置

| 地区名 | 計画種類 | 水深 (m) | 面積 (ha) | 水深設定の 考え方 | 配置、法線及び 面積の考え方 |
|----------|--------------|-----------|------------|---|--|
| 水島 地区 | 泊地 (新規計画) | -14 | 24.1 | 76,000D/W の 原塩運搬船及 び 70,000D/W の穀物運搬船 に対応 | 船舶の入出港にお ける安全性、周辺水 域の利用状況等を 考慮して配置する。 |

注) パシフィック・レンジャー(株)側の水深及び面積については穀物運搬船、瀬戸埠頭(株)側の水深については穀物運搬船、面積については原塩運搬船を基に設定

(3) 航路・泊地計画

1) 航路・泊地計画の必要性

専用埠頭計画に必要な水域を確保するため、航路・泊地を計画する。

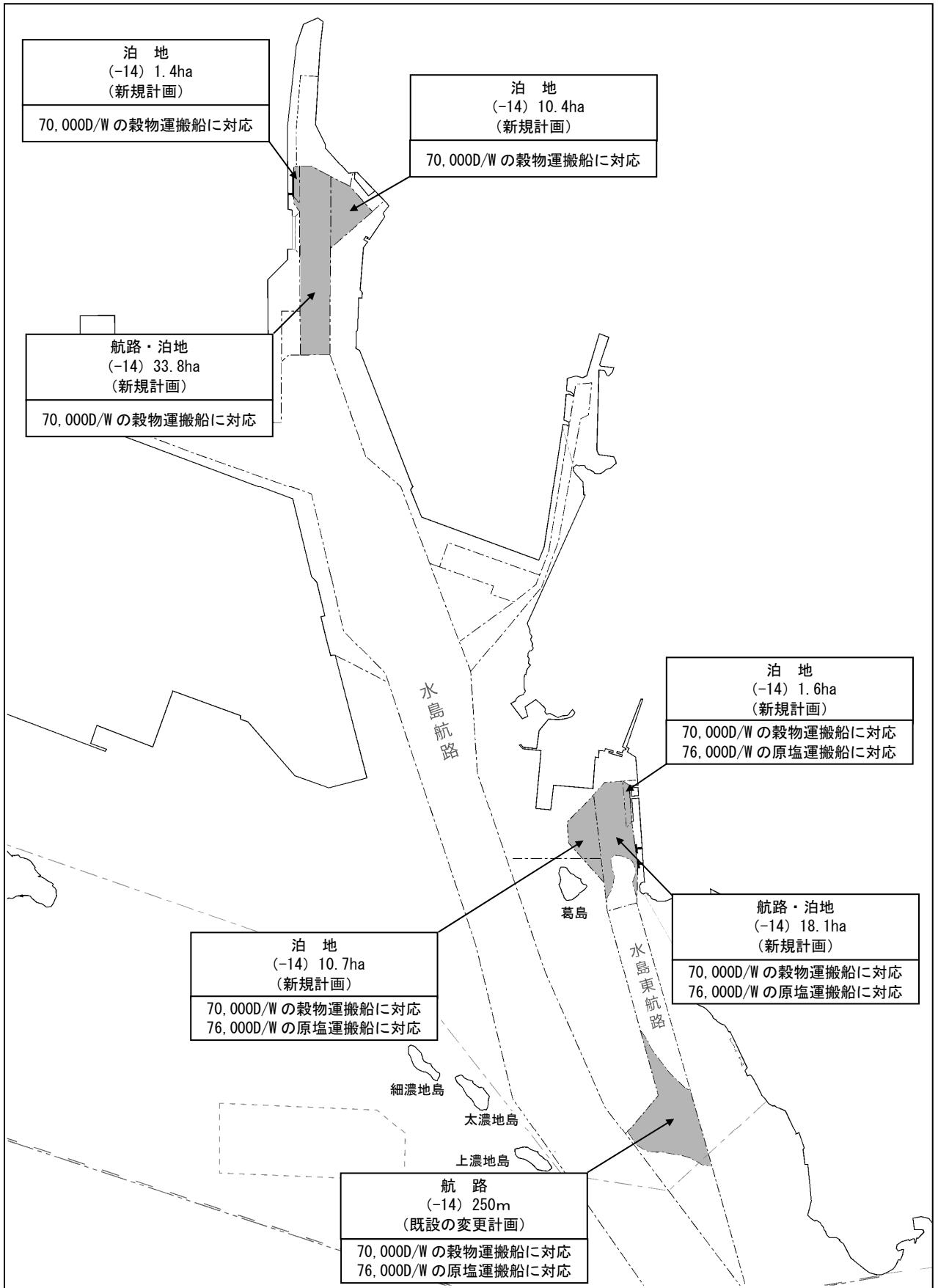
2) 航路・泊地計画の規模及び配置

今回計画する航路・泊地の規模及び配置は、表Ⅱ-2-3に示すとおりである。

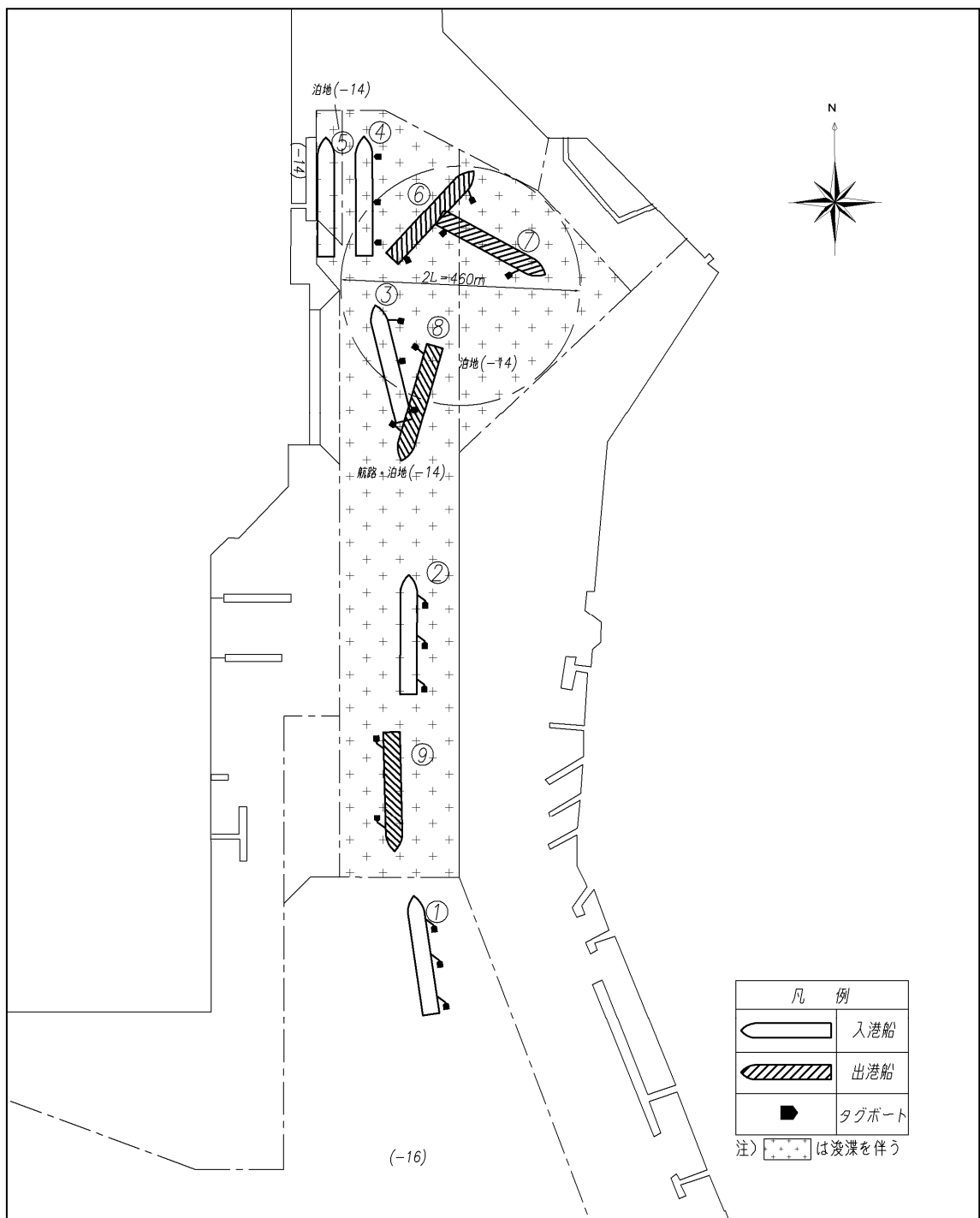
表Ⅱ-2-3 航路・泊地計画の規模及び配置

| 地区名 | 計画種類 | 水深 (m) | 面積 (ha) | 水深設定の 考え方 | 配置、法線及び 面積の考え方 |
|----------|-----------------|-----------|------------|---|--|
| 水島 地区 | 航路・泊地 (新規計画) | -14 | 51.9 | 76,000D/W の 原塩運搬船及 び 70,000D/W の穀物運搬船 に対応 | 船舶の入出港にお ける安全性、周辺水 域の利用状況等を 考慮して配置する。 |

注) パシフィック・レンジャー(株)側の水深及び面積については穀物運搬船、瀬戸埠頭(株)側の水深については穀物運搬船、面積については原塩運搬船を基に設定

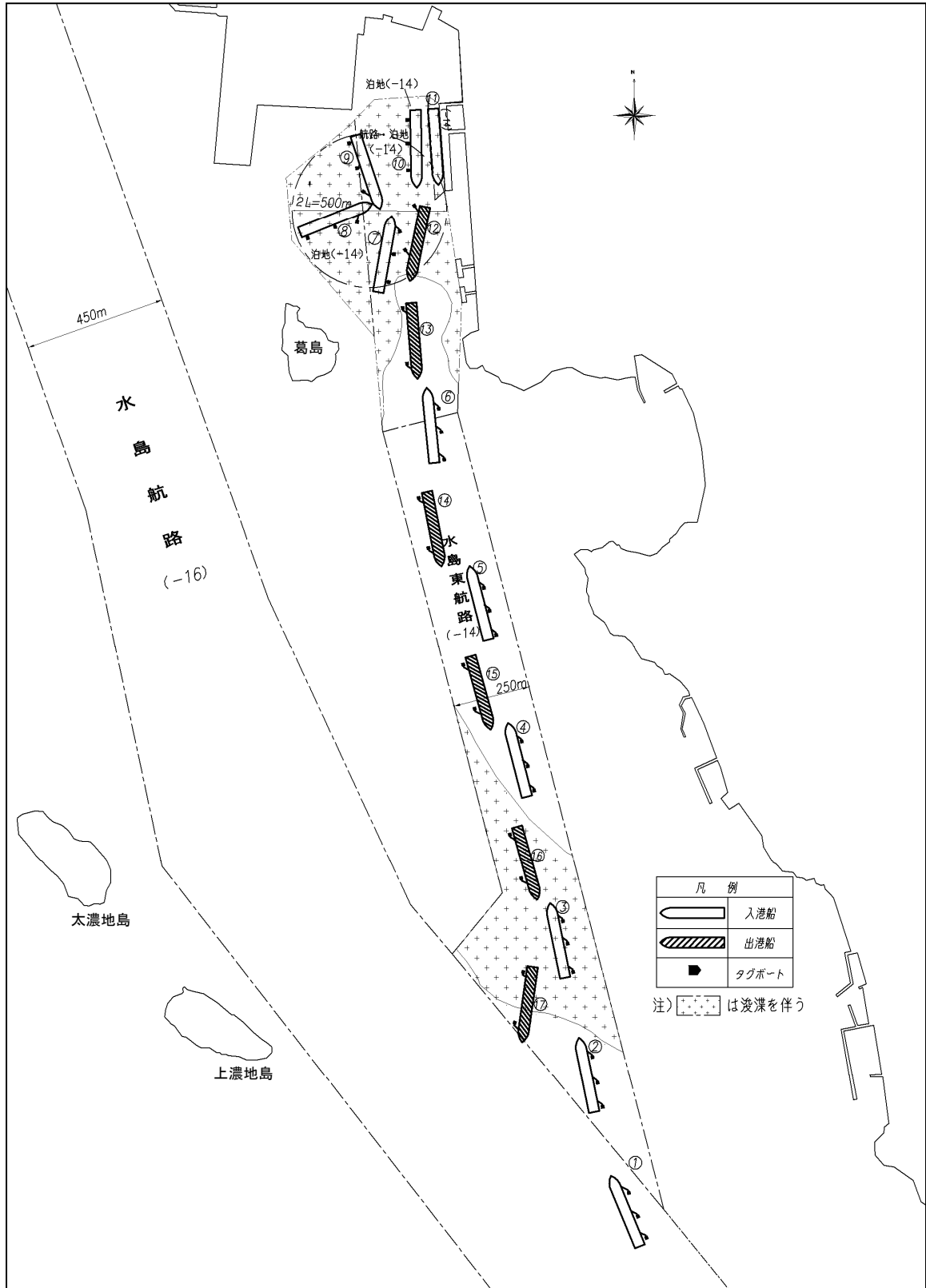


図Ⅱ-2-1 航路、泊地及び航路・泊地の計画位置図



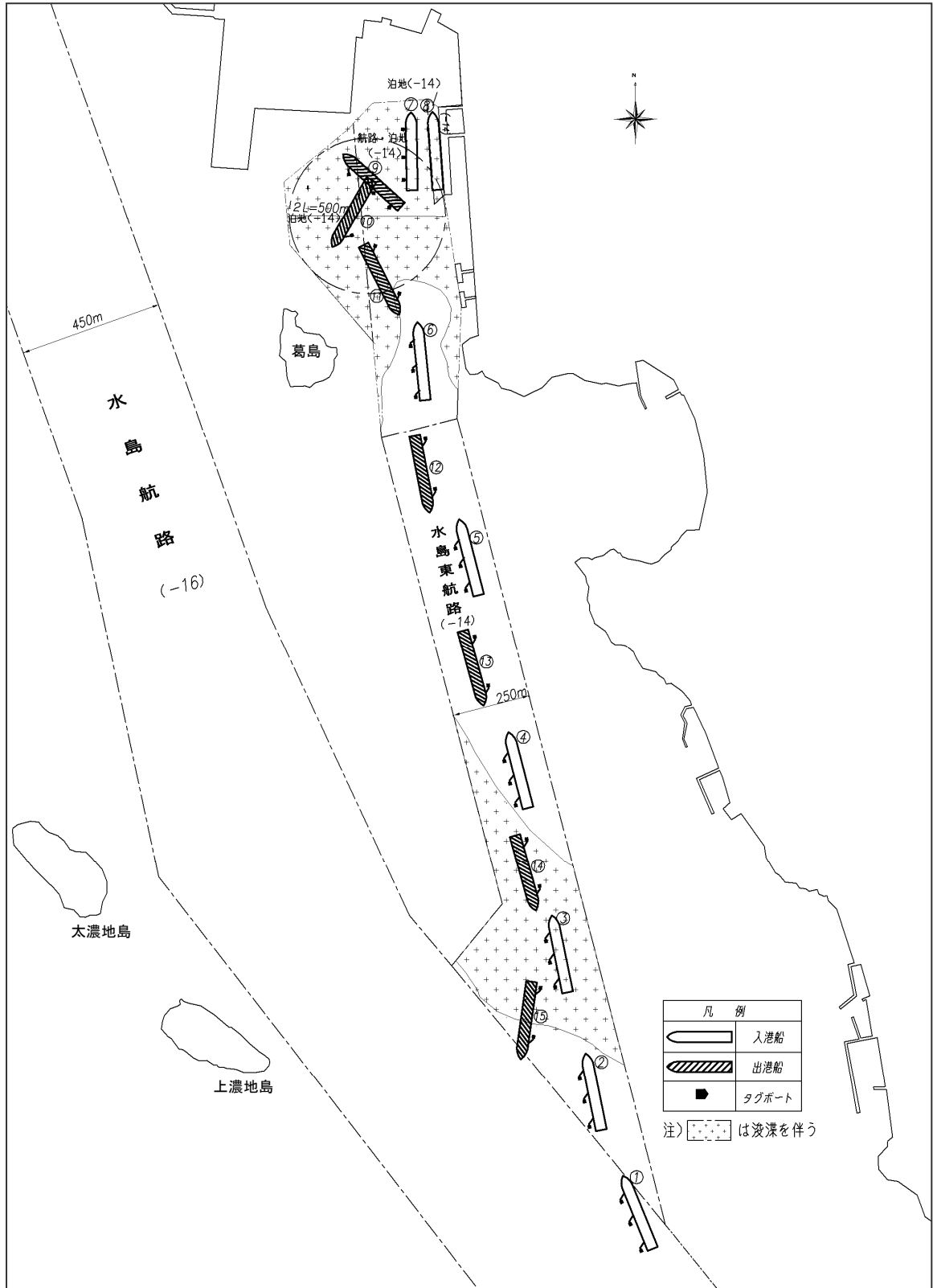
図Ⅱ-2-2 (2) 操船例図 (パシフィックグリーンセンタードルフィン棧橋：入船着棧)

| トン数 | 全 長 | 型 幅 | 喫 水 |
|-----------|------|-----|-------|
| 70,000D/W | 230m | 32m | 12.7m |



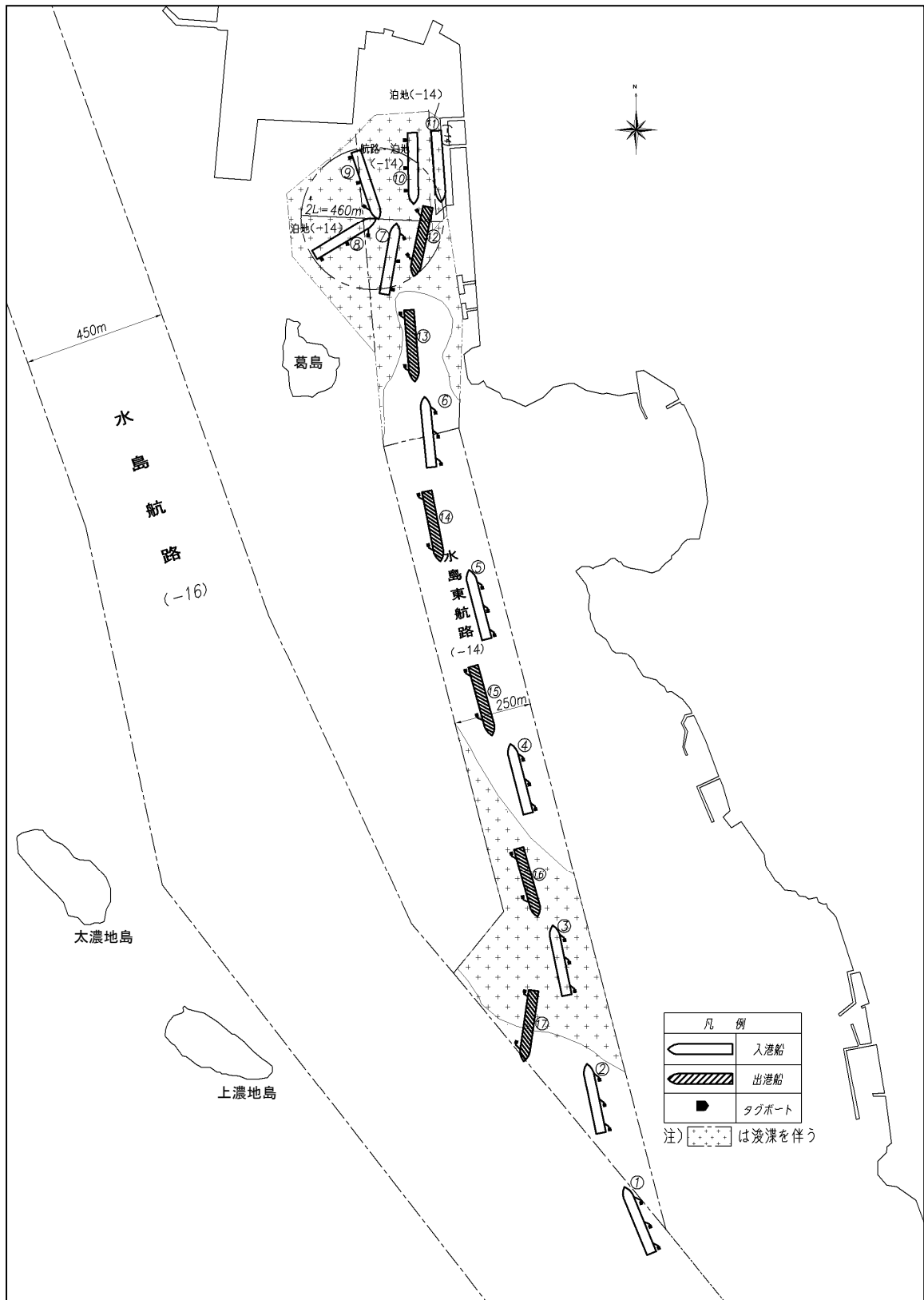
図Ⅱ-2-3 (1) 操船例図 (瀬戸埠頭棧橋 (-14m) : 出船着棧)

| トン数 | 全長 | 型幅 | 喫水 |
|-----------|------|-----|-------|
| 76,000D/W | 250m | 32m | 12.7m |



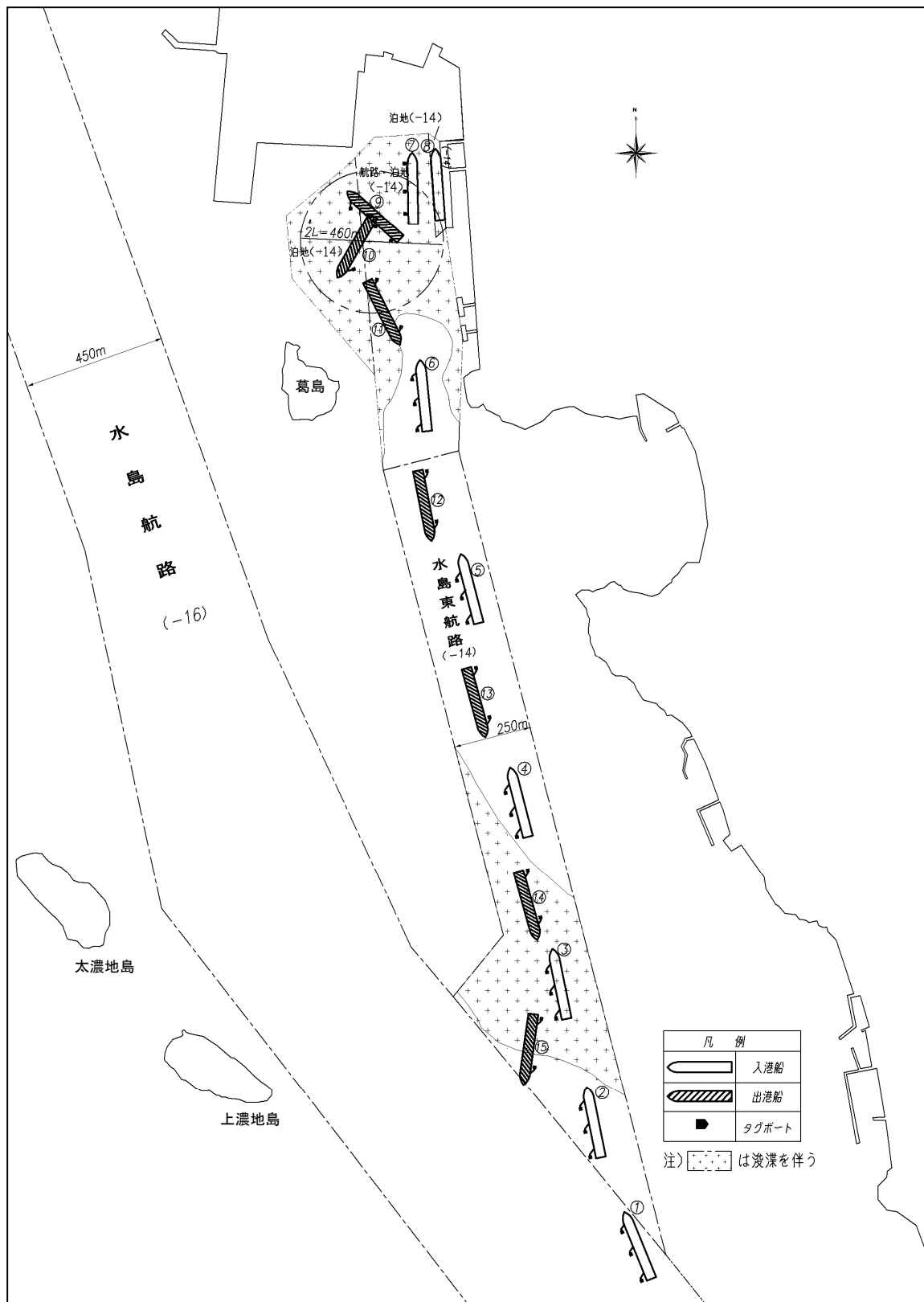
図Ⅱ-2-3 (2) 操船例図 (瀬戸埠頭棧橋 (-14m) : 入船着棧)

| トン数 | 全長 | 型幅 | 喫水 |
|-----------|------|-----|-------|
| 76,000D/W | 250m | 32m | 12.7m |



図Ⅱ-2-4 (1) 操船例図 (瀬戸埠頭棧橋 (-14m) : 出船着棧)

| トン数 | 全長 | 型幅 | 喫水 |
|-----------|------|-----|-------|
| 70,000D/W | 230m | 32m | 12.7m |



図Ⅱ-2-4 (2) 操船例図 (瀬戸埠頭棧橋 (-14m) : 入船着棧)

| トン数 | 全長 | 型幅 | 喫水 |
|-----------|------|-----|-------|
| 70,000D/W | 230m | 32m | 12.7m |

II-3. 効率的な運営を特に促進する区域（港湾運営会社）

(1) 効率的な運営を特に促進する区域（港湾運営会社）の位置付け

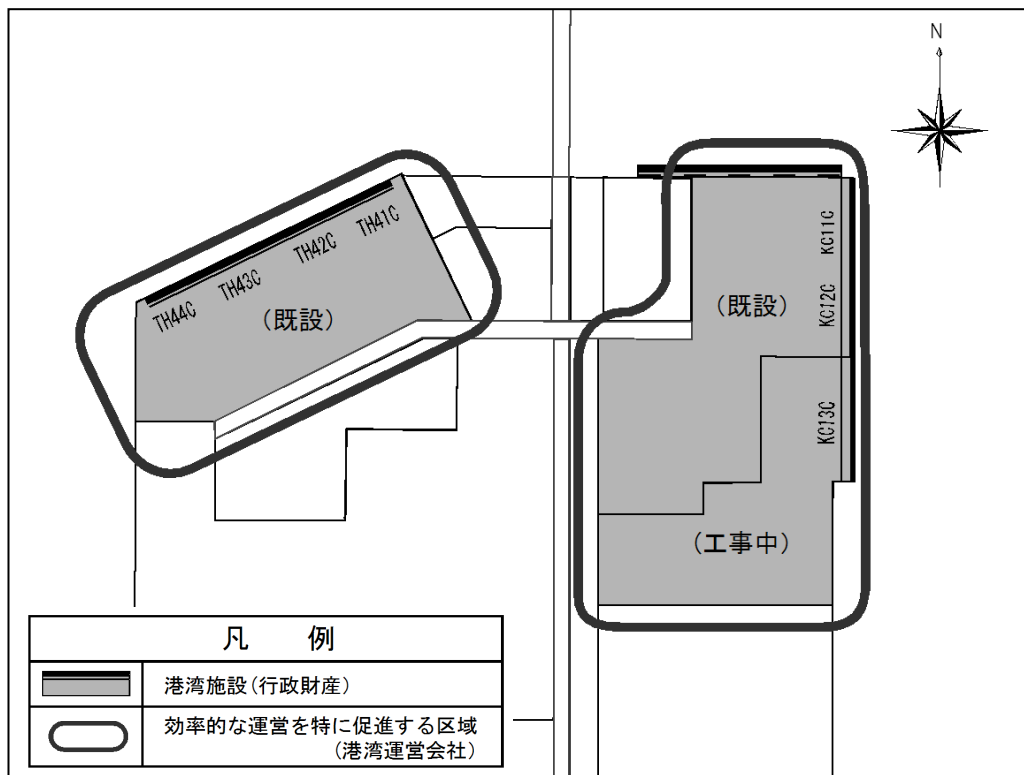
水島港は、水島臨海工業地帯の玄関口に位置し、背後の交通の利便性と併せ、アジア向け定期コンテナ航路が多数就航している。今後も対アジア輸送拠点港湾として、国際的に遜色のない港湾サービスを提供する必要がある中で、現在、効率的なターミナル管理運営方式（特定埠頭の貸付）を導入し、コンテナ貨物を取扱うふ頭の効率的な運営を図っている。また更に、内貿貨物を取扱う港湾の運営においても民の視点を取り入れ、外内貿一体運営によるサービス向上や荷役作業等の協力体制の構築等によるコスト低減を図ることを目的とし、以下の港湾施設（行政財産）について、港湾運営会社に対し貸付を行い、効率的な運営ができるように措置することを計画する。

(2) 効率的な運営を特に促進する区域（港湾運営会社）の規模及び配置

今回計画する効率的な運営を特に促進する区域（港湾運営会社）の規模及び配置は、表II-3-1及び図II-3-1に示すとおりである。

表II-3-1 効率的な運営を特に促進する区域（港湾運営会社）の規模及び配置

| 地区名 | 水深 (m) | バース数 | 延長 (m) | 施設番号 | 埠頭用地 | 備考 |
|------|--------|------|--------|-------------|---------------------------------------|-----|
| 玉島地区 | -12 | 1 | 240 | KC13C | 32.5ha (うち、既設18.9ha、 工事中13.6ha) | 工事中 |
| | -10 | 2 | 340 | KC11C、KC12C | | 既設 |
| | -7.5 | 4 | 520 | TH41C~TH44C | 16.0ha | 既設 |



図II-3-1 効率的な運営を特に促進する区域（港湾運営会社）の計画位置図

Ⅲ. その他の資料

Ⅲ-1. 環境の保全に関する資料

(1) 基本方針

今回計画が周辺環境に与える影響と評価は、以下に示すとおり選定項目ごとに予測・評価を実施した。

1) 項目の選定

項目の選定については、表Ⅲ-1-1 に示すとおりである。

表Ⅲ-1-1 項目の選定

| 環境要素の区分 | | 項目 | 選定理由等 |
|---------|-----|-------|-----------------|
| 大気環境 | 大気質 | 二酸化窒素 | 今回計画の内容により選定した。 |
| 水環境 | 水質 | 水の汚れ | |
| 生物 | 生物 | 海生生物 | |
| | 生態系 | 生態系 | |

2) 予測及び評価の考え方

予測及び評価の考え方については、表Ⅲ-1-2 に示すとおりである。

表Ⅲ-1-2 予測及び評価の考え方

| 環境要素の区分 | | 予測 | 評価 |
|---------|-----|-------------------------------------|----------------------------|
| 大気環境 | 大気質 | 今回計画に定められる事項による環境への影響を考慮し、定性的に予測した。 | 今回計画により周辺環境へ著しい影響を及ぼさないこと。 |
| 水環境 | 水質 | | |
| 生物 | 生物 | | |
| | 生態系 | | |

(2) 環境への影響と評価

1) 大気質への影響と評価

本計画変更に伴う船舶からの負荷量は、既定計画に比べて小さくなることから、大気質への影響は軽微であると考えられる。

2) 水質への影響と評価

本計画変更に伴う地形改変による水質の変化は小さいことから、今回計画が与える水質への影響は軽微であると考えられる。

3) 生物への影響と評価

本計画変更において、海底の一部を改変することになるが、水質への影響が軽微であると予測されることから、海生生物への影響は軽微であると考えられる。

4) 生態系への影響と評価

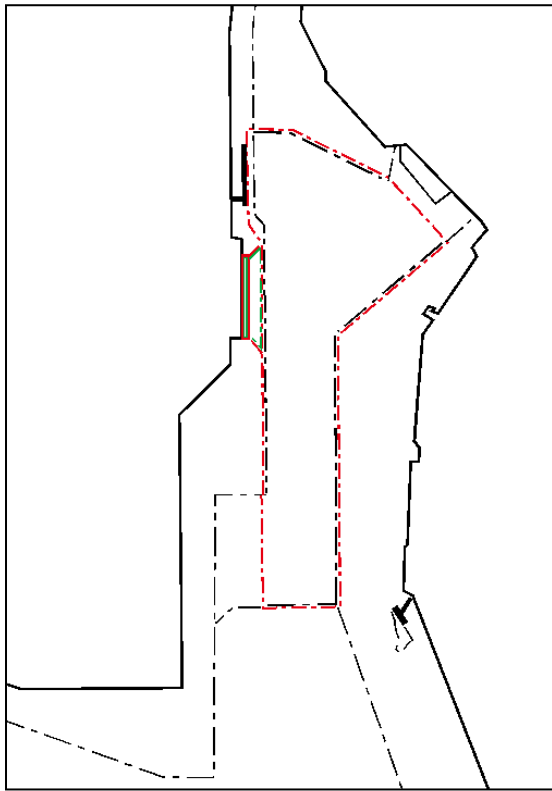
本計画変更においては、計画変更に伴う生物への影響が軽微であると予測されることから、生態系への影響は軽微であると考えられる。

(3) 総合評価

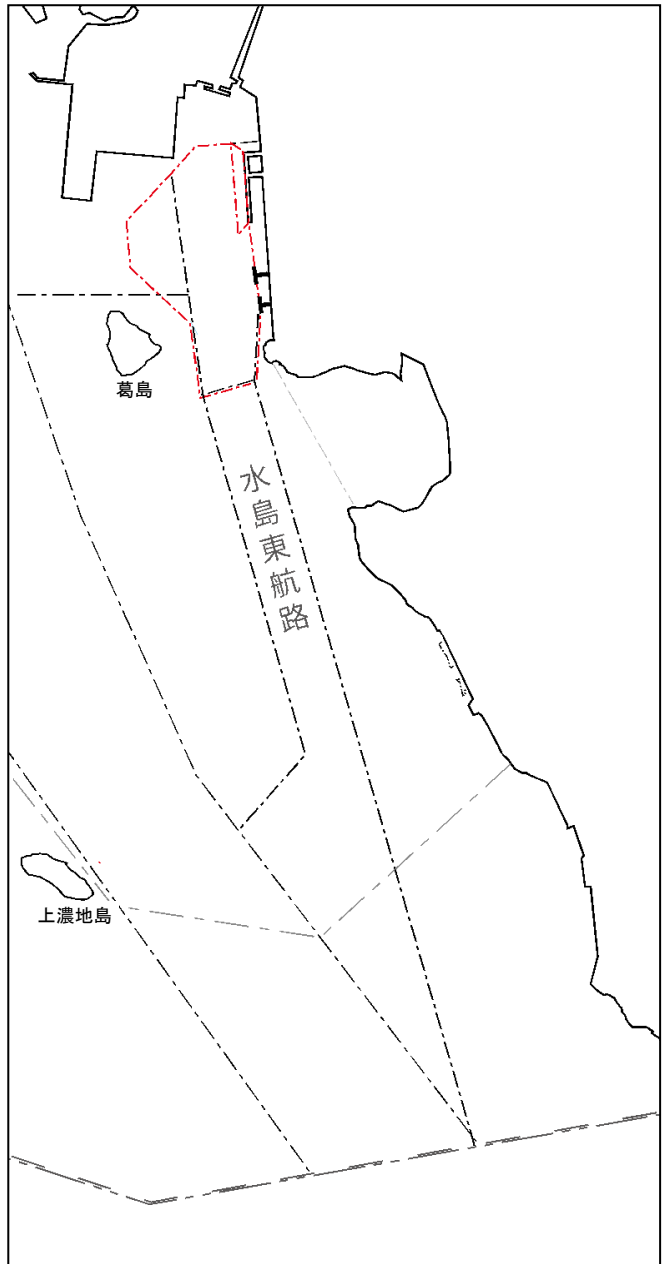
今回計画が周辺環境に与える影響について評価を行った結果、本計画変更に伴う周辺環境への影響は軽微であると考えられる。

なお、今回計画の実施にあたっては、工法、工期等について十分に検討し、十分な監視のもとに環境に与える影響を小さくするよう配慮し、慎重に実施するものとする。

Ⅲ－2．新旧对照图



| 凡 例 | |
|-------|-------------------------------|
| 計画変更後 | — — — — — (red dashed line) |
| 計画変更前 | — — — — — (green dashed line) |
| 現 況 | — — — — — (black dashed line) |



図Ⅲ-3-1 新旧对照图

Ⅲ－３．地方港湾審議会名簿

岡山県地方港湾審議会水島港部会委員名簿

１ 学識経験を有する者

| | |
|-------|-------------------------|
| 千葉 喬三 | 学校法人 就実学園 理事長 |
| 井上 欣三 | 国立大学法人 神戸大学 名誉教授 |
| 菅 浩伸 | 国立大学法人 岡山大学大学院 教授 |
| 山本 幸子 | 山本幸子一級建築士事務所 建築士 |
| 片山 浩子 | 社団法人 中国地域ニュービジネス協議会 副会長 |
| 金澤 寛 | 独立行政法人 港湾空港技術研究所 顧問 |

２ 港湾関係者

| | |
|-------|-----------------|
| 岡崎 彬 | 岡山県商工会議所連合会 会長 |
| 奥野 雄二 | 岡山県漁業協同組合連合会 会長 |
| 小坂 貞昭 | 岡山地区旅客船協会 会長 |
| 大泉 勝 | 内海水先区水先人会 副会長 |
| 武内 一雄 | 中国地方港運協会 副会長 |
| 末長 範彦 | 岡山県倉庫協会 会長 |
| 田上 雅敏 | 岡山県船主協議会 理事長 |
| 山原 始 | 全日本海員組合尾道支部 支部長 |

３ 市町村を代表する者

| | |
|-------|------|
| 伊東 香織 | 倉敷市長 |
|-------|------|

４ 県議会の議員

| | |
|-------|---------|
| 神宝 謙一 | 岡山県議会議員 |
| 加藤 浩久 | 岡山県議会議員 |

５ 関係行政機関の職員

| | |
|-------|--------------------------------|
| 山下 泰弘 | 財務省 神戸税関 水島税関支署長 |
| 戸田 和彦 | 国土交通省 中国地方整備局長 |
| 山根 修司 | 国土交通省 中国運輸局 岡山運輸支局長 |
| 遠藤 和幸 | 海上保安庁 第六管区海上保安本部 水島海上保安部長 水島港長 |